

作成日:2013年11月13日

改定日:2017年5月24日

## 安全データシート

### 【1. 化学品及び会社情報】

化学品の名称(製品名)	カラ一目地 UM23
会社名	二瀬窯業株式会社
住所	〒820-0044 福岡県飯塚市横田 669
担当部署	技術部技術課
電話番号	0948-22-0447

### 【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2(呼吸器系)

(注) 上記以外の物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関する項目は「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
呼吸器系の障害おそれ  
長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系の障害のおそれ

注意書き

安全対策

粉じん、ヒュームを吸入しないこと。  
取扱い後は、手、顔をよく洗うこと。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
皮膚又は髪に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類を脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。  
直ちに医師に連絡すること。  
気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。  
特別な措置が必要である。([4. 応急措置]を参照すること)。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

**【3. 組成及び成分情報】**

化学物質・混合物の区別  
化学名または一般名

混合物  
セメントモルタル粉末

化学名	CAS No.	官報公示整理番号（化審法）	含有量
ポルトランドセメント	65997-15-1	—	40-50%
炭酸カルシウム	471-34-1	1-122	50-60%
四酸化三鉄	1317-61-9	1-357	1-2%
カーボンブラック	1333-86-4	—	0.2%未満
その他	—	—	2%未満

**【4. 応急措置】**

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸し易い姿勢で休息させる。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

多量の水と石鹼を用いて洗い流す。

眼に入った場合

水疱、痛みなどの症状が出た場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。

水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

清浄な水で数分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗顔の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。

この製品が眼に入った場合、一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分であると不可逆的な眼の障害を生ずるおそれがある。

飲み込んだ場合

水でよく口の中を洗浄する。直ちに医療措置を受ける手配をする。

被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

**【5. 火災時の措置】**

消化剤

内容物である製品自体は燃焼しない。周辺の火災時は全ての消火薬剤の使用可。

使ってはならない消火剤

なし

火災時の特有の危険有害性

内容物が消火に用いた水と接触することで、高アルカリ溶液を流出する恐れがある。

特有の消火方法

燃焼源を断ち、上記消化剤を用いて風上から消化する。

消化を行なう者の保護

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

**【6. 漏出時の措置】**

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏出時の処理を行う際には、必ず保護眼鏡、保護手袋、防塵マスク、保護衣等を着用する。

風上より作業する。

環境に対する注意事項

こぼれた場所はすべりやすくなる恐れがあるため注意する。

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

粉塵が飛散しないように注意しながら、掃除機等で吸い取って回収する。

**【7. 取扱いおよび保管上の注意】**

取扱い

技術的対策

【8.ばく露防止及び保護措置】に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。

安全取扱注意事項

排気用の換気を行うこと。

接触回避

吸引又は飲み込まないこと。

衛生対策

【10.安全性及び反応性】を参照。

保管

休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗うこと。

安全な保管条件

【10.安全性及び反応性】を参照。

水濡れ、直射日光を避け、屋内で貯蔵する。パレット等を敷き床より離して保管する。

乾燥した場所に保管する。

安全な容器包装材料

防湿性の容器、包装。

**【8. ばく露防止及び保護措置】**

設備対策

取扱いについてはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。  
取扱場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

許容濃度

日本産業衛生学会

第2種粉塵:吸入性粉塵 1mg/m<sup>3</sup>・総粉塵 4mg/m<sup>3</sup>

管理濃度

(労働安全衛生法・作業環境評価基準)

土石、岩石、鉱物、金属または炭素の粉じん

E=3.0/(1.19Q+1)

E=管理濃度(mg/m<sup>3</sup>) Q=当該粉じんの遊離けい酸含有率(%)

保護具

呼吸用保護具

防塵マスク

手の保護具

保護手袋(ゴム製)

眼の保護具

保護眼鏡(樹脂製、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具

保護服(長袖、長ズボン)、保護長靴

**【9. 物理的及び化学的性質】**

外観(物理的状态)

形状

粉末

色

黒色

臭い

データなし

pH

水と接触するとアルカリ性(PH12~13)を呈する。

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点と沸騰範囲

データなし

引火点

データなし

燃焼又は爆発範囲の上限・下限

データなし

蒸気圧

データなし

比重(相対密度)

データなし

溶解度

水に難溶

n-オクタノール/水分係数

データなし

自然発火温度

データなし

分解温度

データなし

**【10. 安定性及び反応性】**

反応性

水分との接触により固化する。

安定性

通常の取り扱いでは安定。

危険有害反応可能性

該当なし

避けるべき条件

該当なし

混触危険物質

該当なし

危険有害な分解生成物

該当なし

**【11. 有害性情報】**

急性毒性

データなし

皮膚腐食性及び皮膚刺激性・眼に対する

水と接触すると強アルカリ性(pH12~13)を呈し、眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、目の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起す可能性がある。区分 1

重篤な損傷性又は眼刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

ポルトランドセメントに極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギーが起こる可能性がある。

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	特定標的臓器毒性(単回ばく露)区分 2(呼吸器系)に分類されているポルトランドセメントを40-50%含むため、区分 2(呼吸器系)に分類した。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	特定標的臓器毒性(単回ばく露)区分 2(呼吸器系)に分類されているポルトランドセメントを40-50%含むため、区分 2(呼吸器系)に分類した。多量に長時間吸入すると「じん肺」になるおそれがある。
吸引性呼吸器有害性	データなし
<b>カーボンブラックとして</b>	
急性毒性(経口)	ラット LD0 値 > 8000 mg/kg bw (IUCLID(2000))に基づき、区分外。
急性毒性(経皮)	ウサギの LD50 値 > 3 gm/kg (RTECS(2008) : ATDAEI Acute Toxicity Data. Journal of the American College of Toxicology, Part B.)とあるが、他に LD50 値の情報がなく、分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギを用いた 4 試験(1 試験は OECD TG 404 準拠)のいずれも刺激性なし (IUCLID(2000))の結果から、区分外。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギを用いた 3 試験でいずれも刺激性なしの結果 (IUCLID(2002))に基づき、区分外。ヒトにおいて刺激性あり(irritating)の結果 (IUCLID(2002))があるが、データの詳細不明であり、微粒による機械的刺激による可能性も示唆される (HSDB(2003))。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データなし
生殖細胞変異原性	ラットの吸入及び気道内注入による肺胞細胞を用いた HPRT 突然変異試験(体細胞 in vivo 変異原性試験)で陽性結果 (DFGOT vol. 18(2002))がある。このように変異原性を示唆する知見もあるが、それらは、本物質に含まれた芳香族多環水素類あるいは炎症にともなう活性酸素種の発生による可能性があり、カーボンブラックの生殖細胞変異原性を示唆するものとは考え難い。標準的な in vivo 変異原性試験が実施されておらず、データ不足で分類できない。
発がん性	IARC の分類が 2B であり、日本産業衛生学会の分類が 2B であることに基づき区分 2。なお、ラットを用いた 24 ヶ月間の吸入試験において、原発性肺腫瘍の発生率が用量に依存して有意に増加し、腫瘍の種類としては良性の腺腫、悪性の腺癌、扁平上皮癌と腺扁平上皮癌などが見られ (EHC No.171(1996))、また、ラットを用いた 43~86 週間の吸入試験においては、43 週間および 86 週間投与群の腫瘍発生率がそれぞれ 18%、8%であり、対照群においては腫瘍の発生は認められなかったと報告されている (IARC vol. 65(1996))。
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラットに経口投与(15400 mg/kg)による症状として傾眠状態 (Behavioral somnolence) が記載されている (RTECS(2008))が、それ以上の詳しい記述もなくデータ不足で分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	カーボンブラック生産に携わる作業者を対象とした疫学調査は数多く実施されており、特に長期間(10年以上)ばく露されたヒトにおいて咳、痰、慢性気管支炎、肺機能障害、塵肺、肺気腫、肺血流障害、閉塞性呼吸障害、気管支過敏感症、気道抵抗と呼気流の低下など肺に特徴的な多くの症状が現れ (IARC vol. 65(1996))、さらに胸部 X 線写真で微細なびまん性変化を示し、組織学的検査ではカーボンブラック微粒子の沈着と気腫に関連する細網線維形成が明らかとなったこと (IARC vol. 65(1996))が報告されている。以上のように、カーボンブラックの有害影響として職業ばく露による肺の変化または障害が多く、かつ特徴的であることから、区分 1(肺)。
吸引性呼吸器有害性	データなし
<b>【12. 環境影響情報】</b>	
生態毒性	高アルカリ性の排水が動植物に接触することによって生態系に影響する可能性がある。
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	該当しない
<b>【13. 廃棄上の注意】</b>	
残余廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。 洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関係諸法令に適合するよう留意する。
汚染容器および包装	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

**【14. 輸送上の注意】**

国際規制	該当しない
国内規制	該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては包装に漏れのないことを確かめ、転倒落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。また、水濡れがないよう保護措置を講じる。

**【15. 適用法令】**

労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)  
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)  
カーボンブラック(政令番号 130)、酸化鉄(政令番号 192)  
粉じん障害防止規則

じん肺法

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

化学物質排出把握管理促進法: 該当しない

**【16. その他の情報】**

本 安全データシートは、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。また、安全データシート中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、弊社は安全データシート記載事項について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではなく、本データシートに記載されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。